

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 9 6 号
件 名	B R T 事業の抜本的な見直しを求めることについて
要 旨	<p>B R T 事業については、市民の民意を無視し多額の血税を浪費し事業が推し進められています。</p> <p>小生を含め多くの市民は、今日現在幾らの金が当事業に投入され、今後幾らの金が必要なのか全くわからず、羅針盤を失った難破船の状態であり、各部門の事業も費用対効果が度外視されて事業展開されています。</p> <p>その一例として、今般の島式ホーム並びにB R T専用レーンの社会実験は愚かきわまりない社会実験であり、交通渋滞と交通混乱を招いた場当たりの得るものがない社会実験でした。</p> <p>特にB R T連節バスにおいては速達性、定時性の確保をうたっていますが、一般道においてはB R T連節バスの優先的運行権はなく、速達性、定時性を求めることはしょせん無理難題な幻想です。</p> <p>B R T事業を成功させるためには、議会として勇気と英断をもって抜本的なB R T事業の見直しが必要不可欠であり、議会に対し当事業の見直しを求め陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 28 年 12 月 2 日 環境建設常任委員会
受 理	平成 28 年 11 月 25 日 第 4 8 5 号